

## 学修支援センター ピアサポーター企画

### 「中国&台湾 留学生体験発表会」 レポート

**日時**：7月24日（金）12時20分～14時30分

**場所**：2号館1階 学修支援センター 学習室1

**内容**：第1部 体験発表、第2部 交流会

**参加者**：第1部 留学生 5名、教職員 3名、人間発達学科2年 2名、  
人間発達学科4年 4名、グローバル・スタディーズ学科3年 1名 計15名

第2部 留学生 5名、教職員 1名、人間発達学科4年 3名 計9名

#### <準備>

ピア・サポーターでもある、本学の留学生たちが他学科の学生と交流する機会として、留学期間終了前に、体験発表会という形で企画をすることになりました。日本のピア・サポーターと一緒に企画、パワーポイント作成、進行など自分たちで考えてくれました。日本語、中国語、そして英語を交えての放送も担当してもらい、当日は1時限目からセッティング、直前までリハーサルを行いました。

留学生は前列右から4名

範帥さん(山西大学・中国)

張亞楠さん(山西大学商務学院・中国)

陳奕廷さん(開南大学・台湾)

張利琴さん(山西大学商務学院・中国)

後列一番右が司会を担当した

関璐璐さん(山西大学・中国)



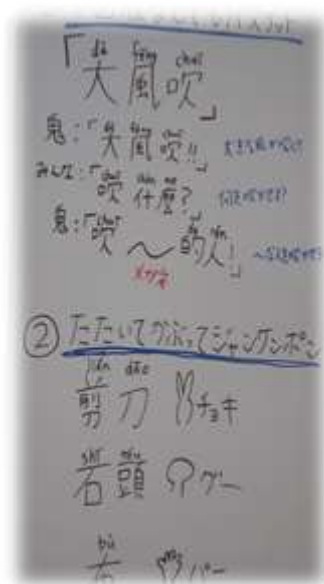
#### <体験発表>

司会はピア・サポーターの人間発達学科 砂口実穂さんと、4月にきたばかりの留学生 関璐璐さんの2人で進行してくれました。

留学生がこの1年で訪れた日本国内や旅行での写真を一人3～5分ほどのパワーポイントにまとめ、音楽とともに発表しました。発表順序は範帥さん→張利琴さん→陳奕廷さん→張亞楠さんです。練習する時間をあまりとることができず、お昼休み時間内に終わるかどうかが、ヒヤヒヤする場面もありましたが、留学生さんたちが1年間どんなことをしたのか、日本を知ってもらえたのか、ということがよく分かる、楽しさあり感動ありのスライドでした。日本の学生たちからは、行ってみたいところが増えたとの感想がありました。

発表後は、3時限目が空いている方のみ残り、留学生との交流タイムです。

## <レクリエーション>



ひとつめは、中国版フルーツバスケット「大風吹」。発音が難しかったものの、中国語でやってみました。このゲームで3回鬼になると、罰ゲームです。モノマネや歌、踊り、きわどい質問などが罰ゲームです。しかし、みなさん、次々に難題をこなしておりました。

次に、日本のゲーム「たたいてかぶってジャンケンポン」です。

中国語のグーチョキパーを習いつつ、トーナメント方式で進めます。

優勝者には賞品もできるとあって、火花を散らす場面もありました。



## <さいごに>

課題やレポート、試験などで、交流会への参加者は多くはありませんでしたが、大学での交流の最後の機会、留学生さんたちも言葉の壁を超えて充分楽しめたようです。

今後も国際交流センターと連携しながらこのような機会をつくれればと考えております。